

第28回四万十川ウルトラマラソン 開催中止について

第28回四万十川ウルトラマラソンにつきましては、4月の実行委員会で開催決議の後、6月27日に専門部会の部長・副部長が委員となる部長会を行い、新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しつつコロナ対策を講じて10月16日（日）に開催することが決まり、四万十市、四万十町の四万十川ウルトラマラソン実行委員会事務局で準備をすすめていました。

本大会は、実に3年ぶりの開催となり、岩間沈下橋もコースに復活し、46都道府県の18歳から81歳までの約2,000名のランナーが秋の四万十川沿いを走る予定でした。

第28回大会は、新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインを策定し、ランナーの皆さんに抗原検査キットを事前に送付し、前日か当日には検査をしていただき、陰性の方のみが参加できるとしていました。また、フィニッシュメダルは自分で首に掛けていただくなど出来る限りランナーセルフで協力をお願いするとともに、給水給食所の軽食は個包装に切り替えるなどコロナ対策を講じることとしていました。

しかし、全国的に新型コロナウイルスのオミクロン株「BA.5」が猛威を振るい、各地で過去最高の新規感染者が発生し、高知県でも過去最高の新規感染者数が確認される中、新規感染者数のピークは過ぎましたが、四万十市、四万十町では依然として新規感染者数が減少していません。

そのため、安全に大会を運営するためのボランティア人数の確保が難しくなっており、苦渋の選択として大会開催中止となりました。

大会開催を信じてエントリーしていただき、練習を重ね、四万十市、四万十町に来る準備をしていただいたランナーの皆様には、大会まで1ヶ月を切った時点での中止ということで、大変ご迷惑をおかけして申し訳ありませんが、何卒ご理解のほどお願い申し上げます。なお、参加料の返金につきましては、後日改めてお知らせさせていただきます。

また大会開催に向けてボランティアとして申し込んでいただいた皆様や関係機関、協賛していただいた皆様、発注準備にご協力いただきました皆様、四万十川ウルトラマラソンを応援していただいている皆様にもこのような結果になり大変申し訳ございませんが、今後とも変わらぬご支援、ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

四万十川ウルトラマラソン大会会長（四万十市長） 中平 正宏